

岐阜シティ・ロゲイニングにスタッフとして参加していただきました皆さん、大変お疲れ様でした。

県協会においてロゲイニングは、過去、5回行ってきました。大垣市内で2回、赤坂、上石津と岐阜市内でそれぞれ1回です。このノウハウについて、愛知県協会が岡崎で実施するに当たり提供し、微力であったと思いますが、力になったのではないかと思います。

今回は、2017（平成29年）が、織田信長公が「井口」と呼ばれていた当地に入城して「岐阜」と命名して450年を記念して周年事業が開催されることに合わせて、平成27年から協賛事業として計画してきたものです。また、計画していく中で、信長公とゆかりの地である愛知・滋賀・京都の各府県協会にも呼びかけてシリーズ戦として実施しようとしたのが平成28年でした。さらに、JOAのナビゲーションシリーズとのWシリーズ戦として位置付けました。

開催にあたり、地図やチェックポイントについては、長谷川さんをお願いして、エリアを拡大するとともに、チェックポイントも信長公に繋がる箇所を選んでもらうこととし、会場として、エリアの中心ともなることもあり、今人気のあるメディアコスモスについて早くからお願いして押さえることが出来ました。

参加者についても5時間の部、3時間の部合わせて149人となり、定員の200人までは達しませんでした。東京、大阪、富山、長野をはじめ近隣も含め多くの方にエントリーしていただきました。

大会のプログラムについては、開催1週間前にホームページに掲載するとともに参加者にメール配信をしました。プログラムは過去の岐阜県での5回のロゲイニングと5月の岡崎大会プログラムを参考に作成しました。岡崎大会では、事前に参加者にはがきを送付して同意書と携帯番号を記載して提出してもらうようにしていましたが、岐阜においては、プログラムの最終ページに当日持参して頂くよう最終エントリー票として掲載することとしました。また、岡崎大会ではゼッケンを着用させましたが岐阜では、過去も行っておらず着用は考えませんでした。また、プログラムの最終ページに中止についての規定を設けました。

成績処理方法については、プログラムやマニュアルにあるように、参加者に添付してある成績結果報告書に所要時間と回ったポイントを記入してもらう方式としました。役員がチェックして、得点計算する。その後、成績結果を見せるため三通りをバックアップも含め実施することとしました。

1つは、紙媒体。成績結果報告用紙を過去の速報短冊のように掲示するもの。

2つめは、結果をエクセル集計し、結果をパワーポイントに貼り付け、プロジ

ェクターで会場スクリーン投影するとともに、成績表として打ち出し、参加者に配布するもの。

3つめは、回ったチェックポイントをMULKAに入力して、結果をMULKAサーバーにアップロードして、結果をダウンロードしたものをプロジェクターで投影するものです。

開会式や注意説明、表彰式の次第については、会場がホールであることもあり、パワーポイントを利用してプロジェクター投影して説明する予定としました。

参加された方には、参加賞として、天下布武枝豆焼きまんじゅう（5個入り540円）、戦国無双の信長のキャラをラップしたペットボトル500mlそして、当日、コラボ予定だったオレンジリボンイベントのボールペンとしました。

入賞者の副賞についても、ナビゲーションゲームズの協賛企業から頂いたノースフェイスの物品とお菓子500円から1000円相当を順位により配分することとした。

広報についても岐阜新聞と中日新聞に1か月前に募集の記事掲載していただくとともに、当日についても、岐阜新聞に取材を依頼しました。また、橋本事務局長が電話出演という形でNHKラジオで告知をしていただきました。

このように、エントリーも多くあり、プログラムも配信してきた中で、前週に引き続き台風が近づいてきました。前日には、台風の動きを気にしながら、様々な準備を進めていました。上記のように、中止についてプログラムに掲載し、中止の場合は、前日の17時に連絡するとしていましたが、台風が接近していたため、何本かの問い合わせ電話がありました。この時点では、台風が接近するものの暴風雨の予報がなかったため、実施する方向でHPにも掲載をしました。しかし、当日の朝5時の時点で、今後の雨脚を見ると、お昼前から強くなり、5時間の部のフィニッシュ1時間前は激しい降りが予想（現実、このような天候となった）されました。午前5時30分頃に判断するとしてHPに掲載し、5時40分から参加者にエントリー時のメールアドレスに中止を送信するとともに、携帯のショートメールに送信しHPにも中止についての内容文を掲載しました。参加者からは、メール時には小雨だったため、中止の判断について不服を漏らすメールもありましたが、大半は理解と主催者への気遣いを頂きました。中止にも関わらず、会場に来られた参加者に本番時配布する予定の参加賞やチラシのほか、地図についても配布をしました。受け取りに来られた方は約45%。残りの55%の参加者のチーム代表者に郵送困難な参加賞以外を当日発送しました。取りに来られた参加者の内、何人かは雨の中、走りに行かれました。

岐阜大会は中止しましたが、岐阜大会参加者に対して愛知大会から、岐阜大会参加者について参加費の減免していただけることとなり、次の大会に繋げられることとなりました。（牧ヶ野）